

製品名: ADCK2 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab06609**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	69kDa

抗原情報

遺伝子名	ADCK2
別名	ADCK2; AARF; Uncharacterized aarF domain-containing protein kinase 2
遺伝子 ID	90956.0
SwissProt ID	Q7Z695
免疫原	抗血清はヒト ADCK2 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 241-290

背景

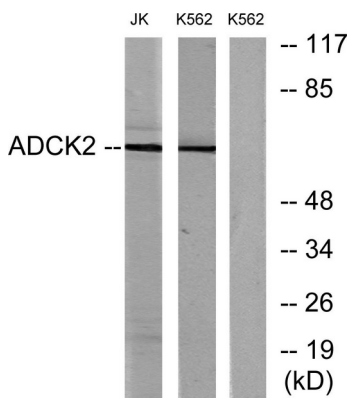
機能: このタンパク質の機能はまだ明らかではありません。タンパク質キナーゼ活性の有無、またリン酸化される基質の種類（セリン、スレオニン、チロシン）は不明です。配列注意: スプライシング異常。類似性: タンパク質キナーゼスーパーファミリー

(ADCKタンパク質キナーゼファミリー) に属します。類似性: 1つのタンパク質キナーゼドメインを含みます。機能: このタンパク質の機能はまだ明らかではありません。タンパク質キナーゼ活性の有無、またリン酸化される基質の種類 (セリン、スレオニン、チロシン) は不明です。配列注意: スプライシング異常。類似性: タンパク質キナーゼスーパーファミリー (ADCKタンパク質キナーゼファミリー) に属します。類似性: 1つのタンパク質キナーゼドメインを含みます。、

研究分野

-

画像データ



ADCK2抗体を用いたJurkat細胞およびK562細胞のライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロックされている。